

## みずほマーケット・トピック(2022年9月30日)

## 内容 1. 為替相場の動向

## 2. 来週の注目材料

※「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照下さい。

## 1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円は週後半にかけて上昇、底堅く推移した。週初26日、143.50円付近でオープンしたドル/円はシドニー時間に一時週安値の143.20円をつけた後、財政悪化懸念が燃える対英ポンドを中心にドル買いが進み、144円台後半まで連れ高となった。27日、ドル/円は144円台半ばを中心に推移したが、海外時間では米9月コンファレンスボード消費者信頼感指数の力強い結果や米長期金利の上昇にドル買いが再燃、一時週高値の144.90円まで上昇した。28日、ドル/円はポジション調整の動きや米金利低下にドル売り優勢となり高値圏から急落。一時144円を割り込み、その後も戻りは鈍く144円台前半での小動きとなった。29日、ドル/円はシドニー時間に下げ幅を広げるも、米長期金利の反転上昇やリスク回避のドル買いにサポートされて144円台後半まで上昇。その後は日銀による介入への警戒感が燃える中、144円台半ば付近での上下動、方向感に欠ける展開となった。本日のドル/円もその水準での取引が継続している。
- 今週のユーロ/ドル相場は週初に急落し、年初来安値を更新した。週初26日、0.9690付近でオープンしたユーロ/ドルは英ポンドの急落に対ユーロでもドル買いが強まり、0.9528まで急落、年初来安値を更新した。ただ英中銀(BOE)が緊急声明を出し、ポンド安への対策措置を行うとの期待感から直ぐに英ポンド買いが加速、ユーロ/ドルも連れ高となり0.97台を回復。その後は独9月IFO企業景況感指数の冴えない結果や米金利上昇もあり伸び悩んだ。27日、0.96台前半で揉み合っていたユーロ/ドルは米金利低下に伴うドル売りやポジション調整の動きから0.96台後半まで上伸も、その後は複数の米経済指標の良好な結果にドル買いが加速し、0.95台後半まで値を下げた。28日、上値の重い展開が続くユーロ/ドルは週初につけた安値圏付近までじりじりと下落も、その後はBOEの英国債購入の発表を背景に米金利も低下、ドル売りが加速し、0.97台半ばまで急伸した。29日、ユーロ/ドルは米金利の反転上昇や欧州株の冴えない動きが重しとなり、0.96台半ばまで値を落とすも、その後独9月CPIの強い結果や独金利上昇にユーロ買いが加速し、一時週高値の0.9815まで急上昇した。本日のユーロ/ドルも前日の高値付近での取引となっている。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

|              |          | 前週末       | 今 週       |           |           |           |
|--------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|              |          | 9/23(Fri) | 9/26(Mon) | 9/27(Tue) | 9/28(Wed) | 9/29(Thu) |
| ドル/円         | 東京9:00   | 142.29    | 143.52    | 144.48    | 144.70    | 144.39    |
|              | High     | 143.45    | 144.79    | 144.90    | 144.86    | 144.81    |
|              | Low      | 141.77    | 143.20    | 144.07    | 143.91    | 144.10    |
|              | NY 17:00 | 143.39    | 144.73    | 144.84    | 144.11    | 144.46    |
| ユーロ/ドル       | 東京9:00   | 0.9838    | 0.9688    | 0.9620    | 0.9596    | 0.9707    |
|              | High     | 0.9851    | 0.9709    | 0.9670    | 0.9751    | 0.9815    |
|              | Low      | 0.9669    | 0.9528    | 0.9570    | 0.9536    | 0.9636    |
|              | NY 17:00 | 0.9695    | 0.9609    | 0.9593    | 0.9738    | 0.9815    |
| ユーロ/円        | 東京9:00   | 139.94    | 139.06    | 138.98    | 138.87    | 140.15    |
|              | High     | 139.94    | 139.52    | 139.51    | 140.36    | 141.66    |
|              | Low      | 138.69    | 137.39    | 138.63    | 138.07    | 139.43    |
|              | NY 17:00 | 138.93    | 138.96    | 138.92    | 140.32    | 141.66    |
| 日経平均株価       |          | -         | 26,431.55 | 26,571.87 | 26,173.98 | 26,422.05 |
| TOPIX        |          | -         | 1,864.28  | 1,873.01  | 1,855.15  | 1,868.80  |
| NYダウ工業株30種平均 |          | 29,590.41 | 29,260.81 | 29,134.99 | 29,683.74 | 29,225.61 |
| NASDAQ       |          | 10,867.93 | 10,802.92 | 10,829.50 | 11,051.64 | 10,737.51 |
| 日本10年債       |          | -         | 0.25%     | 0.25%     | 0.25%     | 0.25%     |
| 米国10年債       |          | 3.69%     | 3.93%     | 3.95%     | 3.74%     | 3.78%     |
| 原油価格(WTI)    |          | 78.74     | 76.71     | 78.50     | 82.15     | 81.23     |
| 金(NY)        |          | 1,655.60  | 1,633.40  | 1,636.20  | 1,670.00  | 1,668.60  |

## ドル/円相場の動向



## ユーロ/ドル相場の動向



## 2. 来週の注目材料

- 米国では、3日(月)に9月ISM製造業景気指数、5日(水)に9月ISM非製造業景気指数が発表される。8月の結果はそれぞれ52.8、56.9となった。製造業については7月から横ばいの推移となり、新規受注指数が3か月ぶりに50を上回った。片や、入荷遅延指数は引き続き減少傾向にあり、供給制約の原因が物流のほかにも労働力不足にあることが示唆された。業種別では18のうち10の業種で改善が確認されたが、原材料価格の高騰などを背景に業況悪化を懸念する声も見られた。非製造業については、事業活動指数と新規受注指数が共に良化した。また、インフレ高進に伴うサービス価格の上昇や金利上昇がありながらも大きな需要の減速は確認されなかった。むしろ労働者の確保に苦慮する状況は継続しており、雇用指数は50.2と採用難と離職の動きが強いことが報告された。業種別では18のうち14業種で改善が確認された。なお、ブルームバーグの予想では、9月の結果をそれぞれ52.4、56.5としている。経済指標関連ではこの他、7日(金)に9月雇用統計が公表予定となっている。
- 本邦では、3日(月)に日銀短観(9月調査)が発表予定。前回6月調査では、大企業製造業業況指数(DI)が3月調査から▲5ポイント悪化して9となり、2期連続の悪化となった。エネルギー価格上昇と円安の進行による原材料高が、企業活動に影響を及ぼしていることが報告された。非製造業DIは4ポイント上昇して13となった。冬場の行動制限措置が緩和され個人消費が持ち直しつつあったことが改善を後押しした。先行き判断に関しては、政府の新型コロナウイルスに対する水際対策やウクライナ危機の長期化に伴う供給制約など不確定な要素が多く、大企業以外のDIは業種を問わず軒並み悪化した。また、仕入コストの上昇によって、それを販売価格に転嫁する動きも確認される中、家計部門の消費活動の減速を懸念する声も出ている。なお、9月調査に関しブルームバーグの事前予想では、大企業製造業DIを11、非製造業DIを13と見込んでいる。

|          | 本 邦                                        | 海 外                                                                          |
|----------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 9月30日(金) | ・8月失業率/有効求人倍率<br>・8月住宅着工件数<br>・8月鉱工業生産(速報) | ・ユーロ圏9月消費者物価指数(速報)<br>・ユーロ圏8月失業率<br>・米8月PCEコアデフレーター<br>・米9月ミシガン大学消費者マインド(確報) |
| 10月3日(月) | ・日銀短観(9月調査)<br>・9月製造業PMI(確報)               | ・米9月ISM製造業景気指数<br>・ユーロ圏9月製造業PMI(確報)                                          |
| 4日(火)    | ・9月東京CPI                                   | ・米8月製造業受注<br>・ユーロ圏8月生産者物価指数                                                  |
| 5日(水)    | ・9月非製造業PMI(確報)                             | ・ユーロ圏9月非製造業PMI(確報)<br>・米8月貿易収支<br>・米9月ISM非製造業景気指数                            |
| 6日(木)    | ・日銀地域経済報告(さくらリポート)                         | ・ユーロ圏ECB政策理事会議事要旨(9月会合分)                                                     |
| 7日(金)    | ・8月景気動向指数(速報)                              | ・米9月雇用統計<br>・米8月棚卸在庫(確報)                                                     |

## 【当面の主要行事日程(2022年10月～)】

ECB政策理事会(10月27日、12月15日、2月2日)

日銀金融政策決定会合(10月27～28日、12月19～20日、1月17～18日)

FOMC(11月1～2日、12月13～14日、1月31～2月1日)

市場営業部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

[daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp](mailto:daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) [http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ\\_backnumber.html](http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html)

| 発行年月日      | 過去6か月のタイトル                                      |
|------------|-------------------------------------------------|
| 2022年9月27日 | 伊メロニ新政権、現実路線への修正は可能なのか？                         |
| 2022年9月26日 | 英トラス新政権、「成長に賭ける」という危険な賭け                        |
| 2022年9月22日 | 週末版(FOMCを終えて～「春になれば円安は止まる」の真実味～)                |
| 2022年9月20日 | EUは冬を乗り切れるのか～結局、節電頼み～                           |
| 2022年9月16日 | 週末版                                             |
| 2022年9月15日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年8月分)                     |
|            | 円安抑止としての日本版HIAの可能性                              |
| 2022年9月13日 | 鎖国政策終了とその後の課題                                   |
| 2022年9月12日 | 動き出す家計部門の外貨運用～金融教育の先に～                          |
| 2022年9月9日  | 週末版(ECB政策理事会を終えて～スタグフレーションとの闘いに挑むECB～)          |
| 2022年9月7日  | 金利差が本当にテーマになるのはこれから                             |
| 2022年9月6日  | ノルドストリーム1の再開延期とユーロ安                             |
| 2022年9月5日  | 円安更新はどこまで続くのか～140円台突破を受けて～                      |
| 2022年9月2日  | 週末版(ECB政策理事会プレビュー～50bpか75bpか～)                  |
| 2022年8月29日 | ジャクソンホール経済シンポジウムを受けて                            |
| 2022年8月26日 | 週末版(劣化する欧州経済の現状～読めないエネルギー供給とドイツのリセッションリスク～)     |
| 2022年8月24日 | 水際措置の緩和の評価～問題は上限ではない～                           |
| 2022年8月23日 | パリティ割れと欧州のインフレ動向について                            |
| 2022年8月22日 | 顕著になる鎖国政策の副作用                                   |
| 2022年8月19日 | 週末版                                             |
| 2022年8月18日 | 過去最大を更新し続ける貿易赤字                                 |
| 2022年8月17日 | 生産者物価指数(PPI)と交易条件と円相場                           |
| 2022年8月16日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年7月分)                     |
|            | 本邦4～6月期GDP～形ばかりの「コロナ前」回復～                       |
| 2022年8月15日 | 独経済は不況の淵に～ライン川の水位低下～                            |
| 2022年8月12日 | 週末版                                             |
| 2022年8月10日 | 独ライン川の水位低下とユーロ安リスク                              |
| 2022年8月9日  | 2022年上半期の国際収支統計を受けて                             |
| 2022年8月8日  | ECBの再投資柔軟化はどこまで可能なのか？                           |
| 2022年8月5日  | 週末版(ドル/円相場の近況をどう考えるか～歴史的な大相場は調整も非常に大きい～)        |
| 2022年7月29日 | 週末版(米4～6月期GDPの読み方～リセッション判断は尚早～)                 |
| 2022年7月27日 | IMF世界経済見通し(7月改定)を受けて                            |
| 2022年7月25日 | ドル/円相場の近況をどう評価するか？                              |
| 2022年7月22日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～前門のインフレ、後門のリセッション、TPIという二番煎じ～) |
| 2022年7月20日 | ECB は7月+50bp利上げに舵を切るのか                          |
| 2022年7月19日 | パリティ割れの背景整理～歴史に学ぶ教訓～                            |
| 2022年7月15日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年6月分)                     |
|            | 週末版(ユーロ圏景気とユーロ相場の展望～ユーロ安でこずるインフレ抑制～)            |
| 2022年7月14日 | 米インフレ加速も住宅市況には変調の兆しも                            |
| 2022年7月12日 | やはり顔を出し始めた新規感染者主義                               |
| 2022年7月11日 | リフレ政策の今後～悲報との因果関係はなし～                           |
| 2022年7月8日  | 週末版(世論に効き始めた物価上昇圧力～日銀がスクープゴートにされる可能性～)          |
| 2022年7月7日  | ユーロ相場急落の背景～ECB/ハト派化より重要なこと～                     |
| 2022年7月5日  | やはり反対していたドイツ～緊急政策理事会～                           |
| 2022年7月4日  | 世界の外貨準備状況～22年3月末時点～                             |
| 2022年7月1日  | 週末版(2年9ぶりのAPP停止と域内債券グルーピング構想～遂に始まる加盟国の階層化～)     |
| 2022年6月28日 | 家計金融資産は動き出すか～22年3月末の状況～                         |
| 2022年6月27日 | 世界は通貨高競争へ～逆・近隣窮乏化策の始まり～                         |
| 2022年6月24日 | 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方～落ち着かないラガルド流～)                |
| 2022年6月22日 | 「ドル高の裏返し」とは言い切れない円安の近況                          |
| 2022年6月21日 | タカ・ハト両面を演じるECB～難しいナローパス～                        |
| 2022年6月20日 | 疑似的な通貨危機の様相を呈する日銀運営                             |
| 2022年6月17日 | 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方～落ち着かないラガルド流～)                |
| 2022年6月16日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分)                     |
|            | FOMCを終えて～円安地合いは固まるばかり～                          |
| 2022年6月14日 | 悲惨指数を感じなかった日本人                                  |
| 2022年6月13日 | 米5月CPIから予見される「円だけマイナス金利」の未来                     |
| 2022年6月10日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～利上げ幅拡大も示唆～)                    |
| 2022年6月9日  | 黒田発言をどう解釈するか～リフレの終幕と実質GDI～                      |
| 2022年6月8日  | 金利が説明力を持ち始めているか～133円台を受けて～                      |
| 2022年6月7日  | 要請経済の継続はトリプル安に～参院選と金融市場～                        |
| 2022年6月6日  | ECB政策理事会プレビュー～サプライズがあるとすれば～                     |
| 2022年6月3日  | 週末版(旅行収支と円相場の需給～制限ありきではインバウンドの影響なし～)            |
| 2022年6月2日  | 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望                           |
| 2022年5月31日 | 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方                         |
| 2022年5月27日 | 週末版(ドル/円相場と理論的な尺度について～もはや参考にしづらいPPPからの乖離～)      |
| 2022年5月26日 | ブログで政策修正を図ったECBの真意～その②～                         |
| 2022年5月25日 | ブログで政策修正を図ったECBの真意                              |
| 2022年5月20日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年4月分)                     |
|            | 週末版(円安相場は終わりなのか？～先行きは夏場以降の政治次第～)                |
| 2022年5月19日 | 本邦1～3月期GDPを受けて～「成長を諦めた国」～                       |
| 2022年5月17日 | ECB、「行動の夏」が意味するところ                              |
| 2022年5月16日 | 円のREERは変動相場制以前の水準へ                              |
| 2022年5月13日 | 週末版                                             |
| 2022年5月12日 | 米4月CPIと今後の考え方について                               |
| 2022年5月11日 | インバウンド解禁と円安抑制の関係性                               |
| 2022年5月10日 | 「資産所得倍増プラン」の危うさ～為替・金利への影響～                      |
| 2022年5月9日  | 「中銀の財務健全性」と「通貨の信認」について                          |
| 2022年5月6日  | 週末版(FOMCを終えて～「50bps→25bps」のプレーキが重要～)            |
| 2022年5月2日  | 円安を止める3つの処方箋～日銀・原発・インバウンド～                      |
| 2022年4月28日 | 週末版                                             |
| 2022年4月27日 | ECB、7月利上げ説は本当なのか？                               |
| 2022年4月25日 | 円安にまつわるQ&A:よくある疑問の論点整理                          |
| 2022年4月22日 | 週末版                                             |
| 2022年4月21日 | 円の命運はまだ自ら変えられる～需給で円安の修正余地～                      |
| 2022年4月20日 | IMF春季世界経済見通し～戦争が変えるメインシナリオ～                     |
| 2022年4月19日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年3月分)                     |
|            | 表舞台に引きずり出された日銀の現状と展望                            |
| 2022年4月18日 | 本当に恐ろしい円安リスクは「家計部門の円売り」                         |